

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

↓ 取り組んでいきたい項目

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|---|------|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | | |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | | |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | | |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|---|------|---|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 地域は違うものの、在宅介護支援センター依頼の家族介護者教室による見学案内は受けいれている。地元の中学生の福祉体験見学を受け入れて高齢者福祉への理解を啓蒙している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | この度の自己評価を参考に改善の取り組みを行いたい。 | | 自己評価、外部評価を活用し改善に努めていきたい。フロア会議の議題として挙げ職員全員で取り組んでいきたい。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では入居者の代表および家族の代表に出席いただき、意見要望を受けサービスの向上に努めている。 | | 自治会会長、地域包括支援センター職員、特別養護老人ホームについて知見を有する者から参加いただき意見交換をしている。 |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の担当課に相談を行って質の向上に心がけている。 | | 引き続き運営やサービスについて課題があれば、市の担当課と協議しながら適切に解決するように取り組んでいく。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 現在のところ対象となる利用者がいないため取り組んでいない。 | | 資料として備えてあるが、研修は行えていないので、内部研修として計画していきたい。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 月1回はフロア会議を開き職員が孤立しない様に情報を共有し防止に努めている 出入り口玄関の鍵は24時間開けており身体拘束のない介護を実践している | | 資料として備えてあるが、研修は行えていないので、内部研修として計画していきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>ホーム長と職員で入院入所施設等に事前訪問を行い、家族本人と面談を行ったうえ調査表等作成し入居判定会議を行い、入居の可否を判定している。契約時には必要書類に基づき説明している。</p> | <p>今後も本人と家族に見学体験利用していただき(昼食を他の入居者と一緒に食べたりして過ごす)、本人ににできるだけ不安がなく入居できるようにしていきたい。</p> |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>サービス計画の情報共有時はできるだけ利用者に同席して頂き意見が反映できるように努めている。本人の希望要望にはできるだけ対応できるようにその都度対応している。</p> | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>家族の面会時に利用者の近況を報告し体調変化時や急変時は電話で連絡している。金銭管理は預かり金管理規定に従い請求書送付時に毎月出納帳長のコピーを送付している。</p> | <p>居室担当者より入居者の生活状況や健康状態を定期的に文書で送付できるようフロー会議で提案し取り組んでいきたい。</p> |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>併設有料老人ホームとの共用受付窓口に意見箱を設け、自由に意見要望などを受け入れられるようにし苦情窓口は契約時に説明している。外部者へは運営推進会議を通している。</p> | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>ホーム長と職員全員(夜勤者を除く)で月1回のフロー会議で意見を出せる機会を設け、意見提案を反映させている。</p> | <p>フロー会議で解決しない議題等はホーム長が運営者に相談し解決を目指している。ホーム長(必要時は運営者同席)との定期的な個別の面接を設け直接意見を聞いていきたい。</p> |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>外出等予め決まっている事に関しては勤務表など調整し対応している。夜間利用者の急変時は対応できるよう勤務体制を整えている。ホーム長は家族等の訪問が集中する土曜日曜は勿論お盆や年末年始はできるだけ勤務に入るよう勤務表を調整している。</p> | <p>今後も柔軟な勤務変更に対応していきたい。</p> |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>開設からの退職職員は1人、異動職員は1人あったが、入居者との馴染みの関係を考慮し、極力職員の入れ替えが無いよう配慮している。ホーム長が管理者と計画作成を兼務しているが、管理者と計画作成の変更は当面ない。</p> | <p>今後は職員の異動・退職の時には新規採用職員と入居者が馴染みの関係を築けるよう介護リーダーサブリーダーが中心となりフォローを行っていきたい。</p> |
| 18-2 | <p>マニュアルの整備</p> <p>サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。</p> | <p>マニュアルは作成し何時でも確認できる場所に備えてあるが、全職員が周知しているとはいえない。</p> | <p>自己学習によるマニュアルの周知徹底を図っていきたい。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修には本人からの参加希望も募っており、準職員も参加対象にしているが取り組みが不十分である。 | グループホーム連絡協議会の研修を中心に職員のスキルレベルにあった研修や職員が参加したい研修には参加できるようにしてい、事業所内でのOJTを計画し取り組んでいきたい。 |
| 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 運営者は同業者や医療関係者と交流し情報交換をしている。管理者は別法人同業者から電話や往来で情報交換を行なっている。また、全国GH協会に加入し、情報の収集を行っている。 | さらに同業者との交流を行っていく中で、サービス向上について何が必要なのか考え実践していきたい。 |
| 21 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 運営者は機会ある毎にホームを訪問し、ホーム長や職員の意見を直に聞き相談にのり対応策と一緒に練っている。緊急の案件は何時でも携帯電話等を通して直接相談ができています。 | |
| 22 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 運営者は適宜ホームに訪問し、ホーム長や職員へ労いの言葉をかけ相談にのり意欲の向上に努めている。 | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | ホームの見学や体験利用を通し雰囲気を感じ取ってもらい、少しでも不安の解消に努めている。入居者個々に担当性を設け希望等を聞きだす努力をしている。 | |
| 24 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 事前に面接し相談を聞いている。診療情報提供書入居事前調査申込書を参考にしている。 | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|---|------|---|
| 25 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>担当介護支援専門員や医療相談員より、他サービスよりはニーズが合致していると見極めをされた上で情報提供ならびに紹介されてくることが多い。よって初期段階ではこのようなことは稀である。</p> | | <p>見極め時において、他サービス利用が必要な場合はその対応に努めていきたい。</p> |
| 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入居希望の際はホーム内の見学体験利用をしていただき、雰囲気を感じていただいた上検討してもらえよう努めている。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>運営理念に掲げているとおり、家事を一緒に行ったり、バス遠足に行ったりしている。食事は朝昼晩3食とも職員も同じテーブルで同じメニューのもの食べるようにしており、家庭としての雰囲気作りをしている。</p> | | |
| 28 | <p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>家族の面会時等には入居者の様子見や会話を職員と一緒にしてもらい、関係を築けるようにしている。</p> | | <p>入居者の思いや職員の思いをきめ細かく伝えることで、入居者を支えていくための協力関係を築いていきたい。</p> |
| 29 | <p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p> | <p>家族が面会に来た際には、なるべく家族と入居者と一緒に外出してもらい、今までの関係を保てるようにしている。</p> | | <p>バス遠足や外出ツアー等の行事の際には気軽に家族にも参加していただけるようにして家族とのつながりを大切にしていきたい。</p> |
| 30 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>外部への電話は職員が支援して自由に行えるようになっている。全員ではないが本人が行きたい場所などを会話の中から聞き出し実現できるようにしている。</p> | | <p>書字能力読解能力のある利用者からは家族等へ手紙を作成し送っている。</p> |
| 31 | <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p> | <p>食事の席は関係の良し悪しに配慮し変更している。入居者同士が関わりあえるように努めているが、馴染めずに孤立している入居者もいる。</p> | | <p>できないところは必ず職員が介助し、入居者同士が支え合えるような生活が送れるように努めたい。</p> |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|------|---|
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 現在のところ対象となる利用者がいないため取り組んでいない。 | | 現在のところそのような関係を持つ入居者はいなかったが必要であれば継続的にフォローしていきたい。 |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の生活の中で表情言語などからその意向を読み取るようにしている。困難な場合は代弁者として検討している。 | | |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居者の話されること家族からの情報などで少しずつ把握に努めている。 | | 引き続き情報を得るため努めていく。 |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ケース記録個別生活記録などを記録して現状を把握し総合的に理解するよう努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人や家族の意向と居室担当者からの意見を聞き、希望している介護をくみ取った上で作成している。 | | |
| 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 期間に応じ見直しをしている。状態変化があった場合見直しを行い新たな介護計画を作成している。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|------|--|
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護日誌と業務日誌を使用し次の勤務者(夜勤からは早勤日勤へ日勤から夜勤へ)へ申し送りを行っている。連絡ノートを使用しホーム内の細かい情報を共有できるようにしている。 | | 居室担当職員の記入する『サービス月評価表』の、日々の変化や気づきの記録を徹底活用し、介護に課題別に反映する取り組みを行っていきたい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 入居者の体調変化や家族の状況に応じ通院の際の送迎を行い柔軟に支援している。看護師を配置し医療連携体制をとっている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 運営推進会議では入居者の状況報告はおこなっているが、警察との協力関係は築いていない。入居者も参加して避難訓練は実施している。 | | 地域の保育園との交流会を取り組んでいき、警察へは情報提供を行い連携を図る取り組みを行いたい。 |
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | GHなので他の介護サービスは利用できないが、入居者家族の意向により、近隣の理美容院を利用する支援はしている。また、併設の有料老人ホームとは協働して相互に連絡を取り合い、共同行事などを企画している。 | | 必要に応じて他サービス(訪問理美容)の利用を検討していきたい。 |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議に参加して頂き、情報交換協力関係を築いている。 | | 引き続き運営推進会議を通して連携を図っていきたい。 |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居相談過程と入居時に予め家族と受診医療機関について話しをしている。希望するかかりつけ医を継続してもらったり新たに専門医受診の必要がある場合は家族と相談し決めている。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------|---|
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 近所に専門医があるので、入居者の状態に応じ受診を勧めたり、時には同行し相談したり指示を受けている。 | | |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 併設有料老人ホーム常勤兼務の看護師による医療連携体制を確保しているので24時間オンコール体制となっている。また、一週間に一度の健康チェックを行っている。状態変化時は相談対応が可能である。 | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 協力医療機関の病院と締結し備えている。入院中は職員がお見舞いに出向き状態の把握に努め、退院後の受け入れに備えている。 | | 入院先を看護師・介護職員と同行訪問し、状態観察を行い相談員等関係者と話をし退院支援に取り組みたい。 |
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 契約時に医療連携体制に関する指針を説明している他、入居者の重度化看取り介護については主治医と連携を図り本人の意思を最大限に尊重すると共に家族の意向を尊重し行う旨を話している。 | | |
| 48 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 指針はあるものの、現在該当者がいないため取り組んでいない。なお、運営者と協力医は、将来的にはターミナルケアに対応できるよう、情報交換に努めている。 | | 段階に応じ事業所のできる事とできない事を家族に伝え、主治医・家族と話をしていきたい。 |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 入所前の入院先施設や家族へは情報提供を行い、スムーズに入所できるよう努めたものの、住み替えについては現在まで該当者が無かったため取り組んだとはいえない。 | | 住み替え時には入居者に関わる保健医療福祉の関係者と情報交換を行っていきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|---|
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>言葉遣いには気をつけ優しい声かけになるよう心掛けている。声かけになれなれしさがでてきている。ケース記録などは記録時以外は棚にしまうようにしているが、施錠ができない。</p> | <p>言葉遣いの見直しを行う、個人情報などの記録類に関しては鍵付きの棚を早急に準備し保管していきたい。</p> |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している</p> | <p>入居者の意志や希望を尊重し、買い物や散歩に参加できるよう支援している。家庭の延長の位置づけを念頭に、自己決定できるよう心掛けている。</p> | <p>引き続き希望や能力の検討をかさねながら支援していく。</p> |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>基本的な一日の生活ルールはあるが、体調や情動の変化等で「ゆっくり起床したい」、「リビングで食事摂取したい」等の希望があれば遅食対応や無理にダイニングでの食事を促さずリビングで食事を摂取して頂く等の対応を行っている。</p> | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>入居者個々の習慣にあわせて身だしなみを整え本人の好みの髪型や洋服を選べるように支援している、入居者や家族の希望により美容院の利用を支援している。</p> | |
| 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>入居者個々のできる活動としての能力を活かして、食材の購入食材の下ごしらえカットや簡単な調理、下膳食器洗浄などに参加できるよう支援している。同じメニューの物を職員と入居者でテーブルを囲んで食事している。</p> | <p>回数は1回しかないが職員が釣ってきた地物のハゼを天ぷらにして食事を楽しめるように工夫してみた。今後も様々なアイデアを出しながら工夫を図っていきたい。</p> |
| 55 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>飲み物おやつについてはホームで準備したもの、買い物参加時に入居者自身で購入したもの、家族が購入したものを健康面に配慮しできるだけ自由に楽しめるようにしている。</p> | <p>飲酒喫煙については現在要望する入居者がいない。要望があった場合は医学的に問題なければ検討していく(喫煙スペースの確保等)。</p> |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|------|---|
| 56 | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 入居者個々に合った排泄用品(尿とりパット、リハビリパンツ)を活用している。羞恥心に配慮し自立移動する活動を大切にしながら排泄誘導を支援している。 | | 排泄パターンが把握しきれず失禁する入居者がいる。排泄誘導の声かけに拒否があり入居者観察や誘導を考えていきたい。 |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日は基本的には個々に決まっているが、その日の健康状態や情動に考慮しその都度変更している。入浴の一連の介助は当番者(遅番勤務者)が対応している。 | | |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 基本的には離床を目的に日中はリビングで過ごしたり活動への参加を促し夜間入眠が図れるよう配慮している。入居者がリビングのソファや絨毯ダイニングの椅子など好きな所で自由に休める環境を作っている。 | | 冬期間はリビングの絨毯にコタツを設置し、少しでも居心地の良い環境作りを行っている。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 入居者個々のできる活動としての作業療法(炊事、洗濯、掃除)に参加して頂き、無理のない範囲で参加できるように支援している。全員ではないが歌が好きな方は入居者同士で時々一緒に歌っている。 | | 職員主導の役割や楽しみにならないよう配慮していきたい。 |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人の要望とできる方には小遣い銭として財布を所持してもらい、買い物や電話等職員が対応し出し入れを支援している。 | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 敷地内の洗濯物干し場等の庭先は遠位監視で自由に散歩できるようにしている。完全には希望に沿っての対応はできていないがちょっとした散歩や外出ができるような支援を心掛けている。 | | 洗濯物干し場等敷地内庭先は、安全に散歩ができるように所在場所確認の徹底と理解協力してもらっている。 |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 家族との外出はいつでもできるようになっているので支援している。バスハイクなど行事として外出しているが個々支援の外出は少ない。 | | 個別支援の外出も居室担当介護職員が計画する事で希望の時に実現できるようにしていきたい。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|------|--|
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 公衆電話があり、自由に電話が行えるよう職員が支援している。手紙の投函は職員が支援したり外出時に自ら投函できるように支援している。 | | 手紙を書いている方や電話の利用希望を継続して支援する。 |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 来訪時は湯茶を提供し、面会時間は8時～20時と一応設定してあるが、インターホンでそれ以外の面会も受けており20時以降に来訪されることもある。食事も事前に連絡を頂き同じメニューの物を一緒に食べていただく事もあり宿泊されていくこともある。 | | 面会時間は一応設定してあるがそれ以外はインターホンで対応。宿泊に関しても自由な為泊っていかれる方もいる。 |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束は絶対しないようにと職員全員に徹底させ取り組んでいる。 | | |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 全職員理解のもと玄関は24時間鍵はかけずリビングは防犯上夜間のみ施錠している | | 入居者が外出する時はさり気なく付き添い一緒に行動する。あるいは声掛けにて注意や気分の転換を図り職員と過ごす時間ときりがえるなどして安全を留意し自由な生活を支援していきたい。 |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 職員は日中は同じフロアで入居者の所在や状況を把握できるように努め、夜間は2～3時間おきに見守ることで対応配慮している。 | | |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 入居者の状況に合わせ危険なものは取り除き(家族に説明し保管)、注意が必要なものは見守るなどして対応配慮している。包丁(刃物)使用時は必ず見守りしている。 | | |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 与薬箱に氏名を記入個別にセットし誤薬防止を行い、誤嚥のリスクが考えられる入居者に対しては食形態を刻み食に変更し工夫している。インシデント・アクシデント発生時はインシデント・アクシデント報告書作成し職員の共通認識を図っている。 | | 今後はインシデント・アクシデント報告書を用いフロアー会議で検討し再発予防に取り組んでいきたい。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|---|------|---|
| 70 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 緊急時対応・連絡網、緊急時対応フローは整っているが、応急手当の訓練を実施できていないため救急救命法の研修の実施を検討していく。 | | 消防署の協力を得て応急手当の研修に取り組んでいきたい。 |
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署の協力を得て併設の有料老人ホームと合同の避難訓練を行っている(年2回)。 | | |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 身体的精神的变化があった時は家族等へ説明している。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎日の健康管理(血圧体温脈拍食事量排便の有無)チェックの実施、普段との様子の変化について気づけるようにしている。必要時併設有料老人ホームの看護師に24時間連絡相談している状況によっては受診している。 | | |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋は健康管理ファイル、ケースファイルに綴りいつでも確認できるようにしている。またインターネットで薬の用法などを調べ理解している。 | | |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | お茶、乳製品等食事面で工夫している。また体操で便秘解消を行っている。 | | |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後の口腔ケアの声掛けをし、入居者の状況と必要に応じ介助で義歯洗浄とうがいを行っている。 | | 法人内歯科衛生士からの口腔ケアチェック口腔体操の指導を受け口腔ケアへの取り組みを行っていきたい |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|------|--|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量の記録を毎日行い個々の状態を把握している。入居者個々の疾患に応じシュガーカットの甘味料や減塩等調理段階で工夫している。 | | |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルは作成し何時でも確認できる場所に備えてあり、それに従い実施している。 | | 共用玄関入り口に手洗い所を設置しており、消毒液(ヒビスコール)とペーパータオルを置き感染の予防に努めている。併設有料老人ホームの職員を含め再度周知を図っていきたい。 |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | まな板布巾、台拭きは塩素系漂白剤で夜勤者が毎日消毒し、食器は手洗い後洗浄乾燥機を使用している。買い物は月曜日～土曜日(週6日)に行き新鮮な食材を使用している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関先にプランターの花を置き、玄関内に椅子を置き一息つける様にしている。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ダイニングは対面式、リビングには観葉植物を置き日当たりの良い空間から外の景色を眺めたりお茶を飲んだりできるように空間作りを努めている。また坪庭を設け、家庭的な雰囲気演出している。 | | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングにテーブルや椅子ソファを配置し自由にくつろげる空間を配慮している。時々少しかけ配置換えしより良く落ち着いて過ごしていただけるよう工夫している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|------|---|
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前に家族と相談しなるべく自宅や入居前の施設で使い慣れた家具等を持参してもらいたい旨を説明している。ベッド籐製の椅子鏡台タンステーブル等使い慣れたものを活用している。個々に十分ではないが入居者が居心地よく過ごすことのできる環境作りを行っている。 | | |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 日常の業務として換気を取り入れ定期的に換気を行っている。温度調整はこまめに行っている。冬期は暖房による乾燥対策として加湿器を使用している。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 立ち上がりや移動がスムーズにできるよう廊下トイレ浴槽は手摺りを設置。床は全面バリアフリーとなっている。居室内寝具はベッドが良いか布団が良いか機能面を考慮し入居者家族と相談し決めている。 | | |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 居室には表札(部屋番号)をつけ、トイレには矢印のついたトイレ手洗いと記入した案内をつけている。食席の配置換えは必要最小限にしている。 | | |
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 職員見守りのもと、ベランダに洗濯物干し場布団干し場のスペースを作り、入居者が自由に出入りできる環境にしている。ベランダでプランターの花を觀賞したりしている。 | | 雪国という地理的不利な条件もあり気候の良い時期はなるべく日光浴が行えるようにリビング横のスペースにテーブルイスを配置し、お茶や食事近所の子供たちとの憩いのスペースをつくっていきたい。 |

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・日々の体調や情動に配慮しできる活動としての作業療法（炊事、洗濯、掃除）への参加誘導を行い能力維持活動性向上不安軽減を図る努力をしている ・理念にもあるように「1日3回の食事を大切に一緒に作って一緒に食べることを実践します」のサービスを提供している